

ツヤハダゴマダラカミキリ

の情報提供に御協力ください

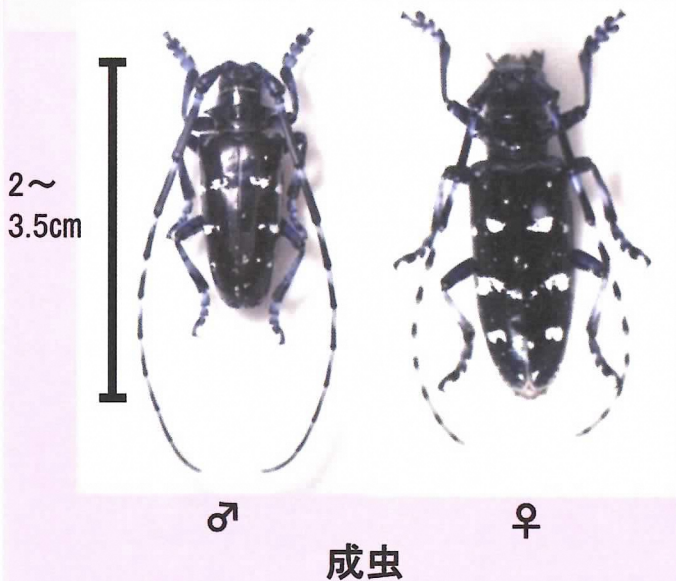
栃木県北東部や県南部を中心に、**特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリ**の被害が拡大しています。幼虫が**トチノキ、カツラ、ヤナギ、アキニレ**等の樹木に寄生し、内部を食い荒らすことで、樹木は最終的に**枯れてしまいます**。

さらなる被害の拡大を防ぐために、皆さんからの情報提供が必要です。

写真を参考に成虫や寄生の痕跡（産卵痕・脱出孔・フラス）を見つけた場合には本種による被害が疑われますので、下記のお問合せ先まで御連絡下さい。

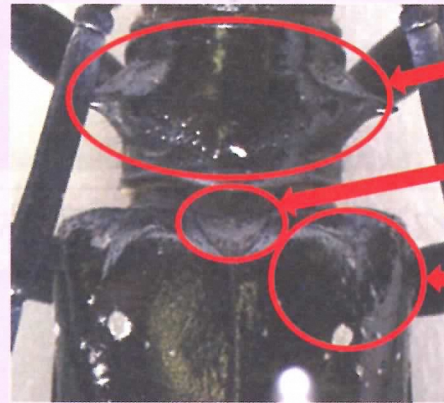
成虫の特徴

- ・ 全体に光沢のある黒色で、硬い翅に約20個の白斑～黄斑がある
- ・ 在来種「ゴマダラカミキリ」に酷似している（見分け方は右記参照）
- ・ 成虫は5月から10月に現れる
- ・ 雄の体長は2～3cm、雌の体長は2～3.5cm



在来種との見分け方

【ツヤハダゴマダラカミキリ（外来種）】

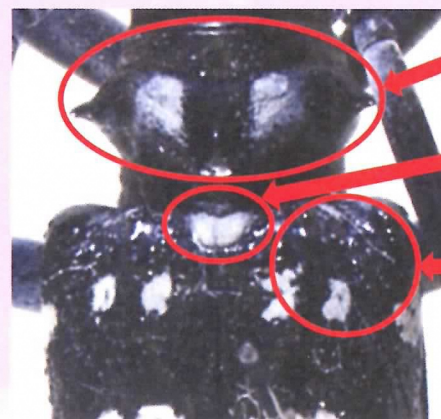


白紋を持たない

白色軟毛を持たない

顆粒状突起を持たない（ツヤツヤ）

【ゴマダラカミキリ（在来種）】



中央に2つの白紋を持つ

白色軟毛を持つ

顆粒状突起を持つ（ブツブツ）

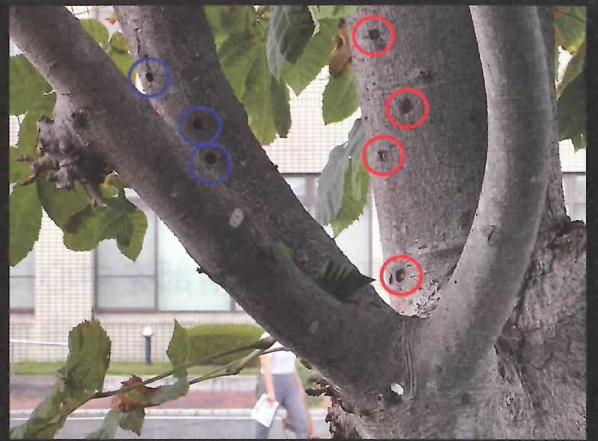
<お問合せ先>

お住まいの市役所・町役場

被害の例



被害で上部が枯死したトチノキ(左)、カツラ(右)



トチノキにつくられた産卵痕(赤)と脱出孔(青)



複数つくられた産卵痕 産卵痕から排出されるフラス

- ・産卵痕、脱出孔、フラスが樹木の上部(高さ2m以上)の幹や枝に多く見られる場合は、ツヤハダゴマダラカミキリの被害を受けている可能性が高いです。
- ・そのため、樹木の上の方が枯れていくのが特徴です。

ツヤハダゴマダラカミキリの痕跡の特徴



○産卵痕

- ・雌の成虫が産卵のために木の幹や枝につくる傷
- ・大きさ10~15mmのすり鉢状をしており、その窪みに産卵する



○脱出孔

- ・成虫が羽化し、樹木の中から脱出するときに開ける穴
- ・直径約10~15mmのまん丸な孔



○フラス

- ・卵からふ化した幼虫が、樹木の内部を食べながら、木くずと糞の混じったフラスを産卵痕から外に放出する
- ・繊維状の木くずが混じる

★ツヤハダゴマダラカミキリを見つけたら

- ・裏面のお問い合わせ先に御連絡いただき、発見場所、発見日等をお伝えください。
- ・成虫は見つけたら踏みつぶす等して捕殺してください。

★可能であれば御協力いただきたいこと

- ・写真を撮影してください。(被害を受けた疑いのある樹木の全景写真や痕跡の拡大写真)
- ・被害を受けた疑いのある樹木を見つけた場合は、樹種や被害を受けている部分をお知らせください。

県民の皆様へのお願い

- 1 外来種について、**よく知る。**
- 2 既に野外にいる外来種をこれ以上 **増やさない。**
- 3 飼っている外来種を絶対に野外に **捨てない。**



ツヤハダゴマダラカミキリは特定外来生物に指定され、**生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止**されており、違反した場合には罰則があります。